



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ  
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

# 留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ  
会長テーマ

## みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

### プログラム

- 本日
 

創立50周年記念式典	会員誕生日 6月9日 平井 誠治 6月13日 佐々木 繁	結婚記念日 6月8日 二ノ宮清信 6月9日 長谷川哲哉
------------	------------------------------------	-----------------------------------
- 次週予定
 

委員長退任挨拶	配偶者誕生日 6月12日 長谷川幸江	
---------	-----------------------	--

No. 2466

第43回 6月8日

出席報告

前例会

会員総数	45名
出免会員	10名
出免出席	8名
出席会員	27名
出席率	81.40%

前々会

第40回 5月18日

欠席会員	11名
内メイクアップ	0名
修正出席率	73.17%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

### 🔪 会長報告 .....

1. 5月28日の日曜日に清水会員、田中会員と共に「赤平ロータリークラブ創立50周年記念式典・祝賀会」に出席してきました。

又、同時に開催をされました第2グループの「都市連合会」にも参加してきました。参加をして「留萌クラブも50周年記念をやっていたら」との思いが少しだけありました。

2. 留萌みなとライオンズクラブより「チャーターナイト47周年記念祝賀会」のご案内を頂きました。6月21日午後6時より「グランドよこや」にて開催とのことでした。

年度末でもありますので、出席を次年度会長であります鈴木康伸会長エレクトにお願いいたしました。

### 👤 委員会報告 .....

次年度理事会・委員会

6月2日午後6時より産業会館1階議員会議室において、次年度理事会及び委員会を開催いたします。

### 🎮 愛好会 .....

麻雀愛好会

〈第4回成績 5月25日〉

優勝 山本 讓二 71,900点

準優勝 森 俊二 12,400点

1位 中川 勝美 300点

## ニコニコBOX .....

- 赤平ロータリークラブ50周年記念式典に参加をして来ました **二ノ宮会員**
- ローター入会における登竜門の「我がおいたち」を無事に終えることが出来ました。ありがとうございました **堀会員**
- 遊びのつもりの麻雀大会が本気になってしまい優勝してしまいました 今後は気をつけます **山本会員**
- マージャン大会、優勝しそこねました **森(俊)会員**
- マージャン大会、残念ながら1位でした **中川会員**

前 回 680,500円  
 今 回 12,000円  
 累 計 692,500円

## プログラム .....

「大型絵本読み聞かせ」

市立留萌図書館 館長 伊端 隆康 様

### 図書館職員3人のプロフィール

#### <伊端 隆康>

- 図書館の指定管理者であるNPO法人留萌体育協会の専務理事兼事務局長
- 図書館長、公民館長、スポーツセンター管理責任者兼務
- 図書館ではマネジメントと雑用係

#### <加藤 美奈>

- 体育協会の職員
- 図書館業務全般チーフ

#### <佐藤 泉>

- 体育協会の職員
- 同じく図書館業務全般チーフ

### 【図書館の仕事について】

- 体育協会が図書館の指定管理者になったのは、2年前の平成21年2月から。今年で3年目。
- きっかけは市の財政難。温水プールが平成21



年度から休館となり、当時「図書館も？」との危機感が漂っていたため、このマチから図書館をなくしていけないという使命感から公募に応じた。

- 図書館の仕事は、一般的には市民に本を貸し出す施設と思われがちだが、図書館の使命は、住民等が必要とする情報、知識を提供、地域の文化を守り、かつ振興することにある、と言われている。本を貸すことは、使命達成の手段の一つというわけだ。
- 図書館の仕事はとても奥が深い、と実感している。
- 図書館の機能としては、本に囲まれた中でゆったり読書する、勉強する、調べ物をするなど多岐にわたる。
- レファレンスと言って、さまざまな調べ物や質問にも対応する。
- おはなし会など、子供に本を読む習慣をつけてもらう取り組みも展開している。
- ブックスタートといって、9カ月健診会場で本をプレゼントすることもしている。
- 郷土資料、地域資料の収集も重要な仕事。
- 現実に大変なのが、選書といわれる本を選ぶ仕事。
- 一定の基準に基づいて本を選ぶが出版量が膨大で苦勞している。留萌市民がどんな本を好んでいるか、カウンターでの感性が重要になる。
- いくら良い本でも読まれなければ、税金の無駄遣いになる。
- あまり読まれなくても、図書館の機能として所蔵すべき本もある。例えば、このたびの東日本大震災の本など、重要な史実として残さ

- なければならない本になる。
- また逆に除籍といって、本を廃棄する作業も気をつかう。
  - 図書館にはおよそ10万冊の本があるが、年間約300万円相当、ざっと2,000冊余りの本が入るから、ほぼ同数の本を除籍し新陳代謝しなくてはならない。
  - 除籍にも基準がある。汚れた本、長期間読まれなかった本は廃棄するが、古くても残すべき本もあるから、ここの職員の感性が重要になる。
  - いずれも、とても気を使う仕事で、この選書と除籍作業だけでも、多くの時間が必要になる。

## 【体協・図書館は何をしたか】

- 2年前の10月、中央公民館事務室に蔵書約4,000冊の分館を作った。
- 書架の設置やシステムの導入などで約250万円かかった。図書館は収入ゼロの施設だから、これまでにコツコツ貯めた体協のお金を充てた。スケールメリットとなった。
- 分館の開設に併せて、中央公民館の事務室のドアを3倍に広げ、ガラス張りにした。昭和48年の開設から「分かりづらい」「入りづらい」「暗い」と言われていたので、改善した。
- 図書館のフロアが、とても暗かったので蛍光灯19本を増設した。
- BGMを流すようにした。日中はクラシックや軽音楽等静かな曲。朝は森田公一さんの「留萌の春」、閉館前には佐藤勝さんの「若者たち」を各10分程度流している。
- 利用者アンケートの要望・意見で、さまざまな改善をした。
- 要望は①時間を延ばせ②休みを減らせ③本を増やせ、に絞られる。
- そこで今年4月から開館時間を朝30分、夕方30分それぞれ延長し、午前9時30分から午後6時までとした。また毎週木曜日は午後7時まで延長している。
- 祝日休館をやめた。(開館日数は22年度290日間、2年前と比べ休館が17日間減った)

- 月末休館日をやめて連休をなくした。
- 5冊までだった貸出冊数を10冊までとした。
- いずれも市の条例で決められているが独自に改善した。(良い改善は認められる)
- 有料コピーサービスを始めた。
- 読み聞かせ5時間リレーを実施した。(40人で5時間)
- 長期延滞者(本の未返却者)の督促をハガキから、電話督促作戦に切り替えた。
- こうしたことから図書館利用者は、じわり増加している。
- 学習コーナー、おはなしの部屋、学校配本の充実。
- 今年2月、長テーブル10本を購入して視聴覚室に学習スペースを設けた。
- 図書館には「学ぶ」という機能もあるが、学習スペースが手狭だったため、利用頻度の少ない視聴覚室をそのスペースに充てた。視聴覚室は主に映画会や小さい子のおはなし会で使っているが、月3・4回の利用だった。有効活用を市に提案し、ちょうど国の助成金があり採用された。
- 視聴覚室の入口は玄関側に1つしかなく、解放状態にするといたずらされても分からず、監視不能だった。そこで、事務室から視聴覚室に通じるドアを新設。学習スペースの開放が実現した。
- 図書館オープンから21年目にして、視聴覚室の利用頻度がグンと高くなった。
- 国の助成金では、小中学校に貸し出す本も100万円相当購入できた。
- 今秋には、児童図書コーナーに「おはなしの部屋」が新設される。この部屋はおはなし会の会場だけでなく、お母さんが小さなお子さんに本を読み聞かせ出来るスペースにもなる。

## 【図書館の評価】

- 窓口アンケートでは、手前味噌だが、その結果はすこぶる良く、図書館は窓口の接遇、職員の態度の設問で「良い」が85%、「普通」15%となっている。
- また、市が市政懇談会の出席者を対象に行っ

## 第42回 6月1日(水) 天候/晴

た市民満足度調査では、図書館の指定管理者制度導入を91%が評価する、という驚きの結果も出ている。

### 【今後の課題】

- 雇用不安の解消。指定管理者の宿命として契約期間（現在は3年）が切れるたびに不安は生まれるが、自力解決はできない。
- 「将来が不安な職場」に良い人材は集まりづらく、活力ある職場づくりは困難になる。そのことはミッション達成の阻害要因となり、公共施設の管理ではサービス向上にブレーキをかけかねないから、客観的な評価で及第点を与えられるなら、契約期間を延長すべきと考える。運転免許のように無事故無違反なら「ゴールド五年間」のような制度に変えるよう、教育委員会に要望していきたい。
- 経費削減から、雑誌オーナー制度の展開を検討している。（市立留萌図書館で購入する雑誌の購入費を企業に負担していただく『年契約』雑誌カバーに企業広告が載る）

### 【読み聞かせの効果（佐藤 泉）】

- 字の読めない子どもや読書が苦手な子どもに楽しんでもらえ、言葉の表現力が育ちます。
  - 読み手と聞き手の心の交流が深まり、感動を共有できます。
  - 本読みでなく、本を「語る」ことで絆が生まれます。
  - 読み語りしながら絵を見てもらうことで、想像力が育ちます。
  - 子どもに絵を「読む楽しさ」を発見してもらえます。
- ※みなさんも、お孫さんなどに読み聞かせしてあげていただきたいと思います。

※上手に読む必要はありません。楽しく読むことが大切です。

※昔話などを、ぜひ語ってあげてください。

※このたびの寄贈、本当にありがとうございました。

### 【大型絵本について（加藤美奈）】

- 絵が大きいので、大勢で一緒に見るのに適しています。
  - 会場が広い場合、例えば屋外でおはなし会を開く時などに活用できます。
  - 「小さな絵本に魔法をかけて大きくなった」などのパフォーマンスができます。
  - 図書館では、おはなし会や施設見学に来た幼稚園児などの読み聞かせに活用しています。
  - 市内の児童センターにも貸し出し、とても喜ばれております。
- ※大型絵本は1冊10,000円前後と高価でなかなか買えませんでした。今回の寄贈で少なかった蔵書が充実できました。
- ※またバリエーションが増えたことで、おはなし会が充実します。団体の活用も増え、多くのみなさんに喜ばれております。本当にありがとうございました。



## 例会プログラム【6月】

6月15日(水) 委員長退任挨拶

6月29日(水) 最終夜間例会

6月22日(水) 役員・理事退任挨拶